

募集期間は、平成30年5月10日（木）から
7月10日（火）17時必着です。

平成〇年〇月〇日提出

平成30年度 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム 申請書

1 申請者情報

申請団体名（ふりがな）		民俗芸能は、その保存会等の代表者からの推薦書が別途必要になります。
代表者職・氏名		
事務連絡担当者氏名（部署・職）		
（事務連絡担当者）	所在地	必ず連絡が取れる方の連絡先を記載してください。
	TEL	
	FAX	
	E-mail	指定等の名称や、その指定された年月日も含めて記載してください。
ホームページ		
文化財の場合、国または地方公共団体による指定等		
国の補助金や芸術文化振興基金、他団体（地方公共団体等も含む）の補助金への応募の状況		必ず助成金の名称を記載してください。申請中のもも記載対象です。

2 実施計画の名称（ふりがな）

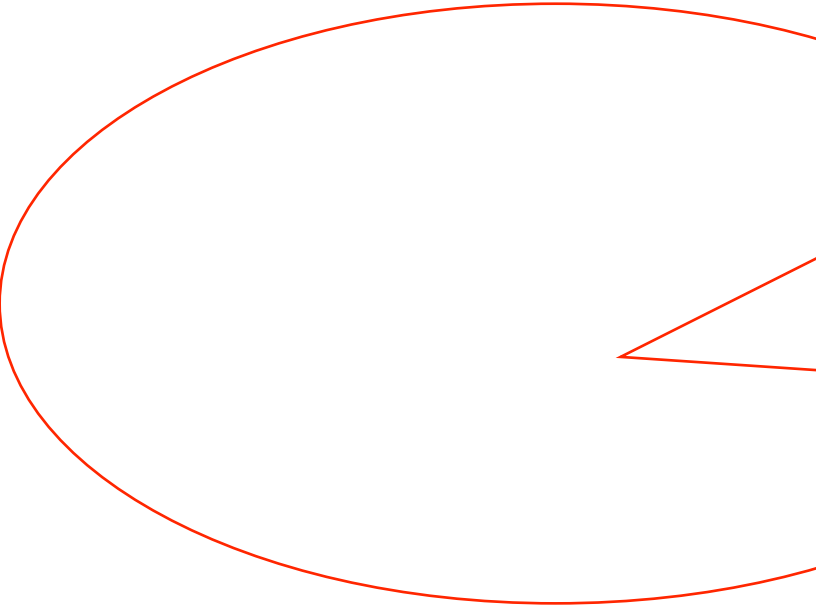
	事業の採択は年度ごとに行いますので、初年度の計画が採択されても、次年度以降の採択を保証するものではありませんので御注意ください。
--	--

3 実施計画の期間（下記に〇をつけてください。）

1年以内	2年以内	3年以内
------	------	------

4 「復元」や「活性化」の必要性

(現在どのような問題があるか、緊急性や必要性を踏まえて記載してください。)

	<ul style="list-style-type: none">・現在抱えている問題にいたるまでの経緯やその背景について記載してください。・復元や活性化を行う、古典芸能や民俗芸能の由来・歴史も記載してください。
楽器・用具用品の復元の場合、その所有者を明記してください	

5 実施計画概要 (4で述べた問題をどのように解決するか、1～3年間の取組計画)

目的 (1～3箇年の取組を通じて何を目指すのか)	
内容 (具体的にどのような取組をするのか)	

効果 (この取組によっ て地域や各芸能分 野にどのような効 果が期待される か)	

6 平成30年度の実施計画

	時期	実施内容 (場所)
	スケジュール	
目標 (5の実施計画を 遂行するための今 年度の達成目標)		

予定を含め、具体的に記載してください。記入欄が不足する場合は、複数頁にまたがって記載してください

何をもって目標を達成したことになるのか、具体的に分かりやすく記載してください。

できるだけ具体的に記入してください。

7 平成30年度の連携・協力の状況

企業等	
大学等の研究機関	
団体	
地方公共団体等	
その他、協力者	
<連携・協力内容>	

8 今後の計画の概要（実現可能性、継続性を踏まえて記載してください。）

年度	活動内容
31	
32	

9 期待される京都の伝統芸能文化の振興への効果

--

この取組を実施することで、現在もしくは将来的に京都の伝統芸能文化の振興につながる事が分かるように記載してください。例えば、「その芸能が歴史的に京都と繋がっている」や「将来的に京都の他団体とネットワークを構築したい」など。

10 収支予算書

別紙を記入してください。（プログラム全体に要する収支を記入してください。）